



Rotary 

創立 1993年12月1日
事務局 〒286-0106 成田市取香 500
ホテル日航成田
TEL/FAX 0476-24-5044
例会場 ホテル日航成田内
TEL 0476-32-1144

成田コスモポリタンロータリークラブ週報



2019～2020年度 国際ロータリーテーマ
ロータリーは世界をつなぐ

【 会長 マーク・ダニエル・マローニー 】

成田コスモポリタンRCターゲット
「みんなで輪をつなげよう」

〔会長：奥村 國雄〕

第 1276 回 例会

令和2年2月26日（水）

《 外部講師卓話 》

- ◇ 点 鐘 奥村 國雄 会長
- ◇ ロータリーソング 我等の生業
- ◇ 四つのテストの唱和 飯島 一扶 会員
- ◇ お客様紹介
大本山成田山新勝寺 企画課 松岡 照英 様



◇ ニコニコ BOX

- ・高木 正尊 幹事

《先週の金土で東京へ出張しました。まだ発熱・せきの症状がないのでニコニコ致します。》

◇ 会長挨拶 奥村 國雄 会長

改めまして、皆さまこんにちは。本日の例会は、大本山成田山新勝寺企画課の松岡照英様においでいただきました。後ほど卓話を宜しくお願いたします。

今日の例会は日付を変更したわけですが、その影響もあって出席率が悪いかと思つた中でも、来て頂いてありがとうございます。今現在、新型肺炎ウィルスで皆さん不安な気持ちでいらっしゃると思います。ニュースや新聞で把握して私より詳しい方もたくさんいらっしゃると思いますので、最初から考えていた内容でお話しさせていただきます。



どうしても新聞やそういう所からの情報が多くなってしまっているのですが、「日本の技術競争退場の危機」という記事がありました。『政府が1月に決定した「量子技術イノベーション戦略」のなかで、世界に遅れる現状に危機感を示すとともに、異例の反省を盛り込まれた。「政府全体として必ずしも整合性ある取組が行われてこなかった」。次世代の高速計算機、量子コンピューターなどの量子技術は米中がしのぎを削る主戦場だが、日本は戦う体制すら整っていなかった。民間を含む研究開発費はアメリカ 60兆円、中国 54兆円、日本は 19兆円で米中の3分の1で、もはや資金力の差は埋めようがありません。科学技術立国の幻想にとらわれ、あらゆる研究を望み続けたらいずれの成果も取り損ねる。量子技術の開発は関係省庁のそれぞれの都合で進められ、後手に回った。量子コンピューターも研究初期は NEC が先行したが、国を挙げて技術を開花させる発想はなかった。その間、米グーグルはカリフォルニア大学のグループの技術に着目。傘下に迎えて 19年に最先端のスーパーコンピューターを上回る性能を実証しました。』これは新聞やニュースでも報道されていたので、皆さんご存知だと思います。その仕組みは専門家ではないのでわかりませんが、その部分ではアメリカが先行しているという事です。『米中が技術覇権を争い、かつてない速さで研究開発が進むいま、有望な技術をいち早く見出せるかは死活問題。』まさに、日本にとっては昔から技術で生き残って来た国ですから、死活問題になることは確かです。『日本の将来につながる技術の支援を優先し、旧弊やしがらみを断って実行に移す覚悟が必要だ。日本には技術を見極める目や投資の決断力を持つ司令塔が見当たらない。日本発の IPS 細胞の研究支援も中途半端。基礎から応用まで見渡す米国などに見劣りする。量子技術や人工知能への投資も不十分になる恐れがある』としています。日本のノーベル賞受賞者の多くがアメリカの研究所や大学に所属しています。そういうケースが多々見当たりますけれども、やはり日本にポストが無い、研究費が無い、研究機関が無い、様々な理由があると思います。名もない優秀な研究者が他国で成果をあげているというのも散見されます。今学生たちも、理工系の大学に進学する生徒が減少しているというのも新聞記事で読んだことがあります。裏方や黒子役の研究者ばかりでなく、山中教授のような表に出る研究者のスターが何人も出てくる必要があるのかなと思いました。学生たちの関心を科学技術にも興味を持ってもらえるような TV 番組も増やしてもらったらいいなかな、などとも考えました。独り言のような部分も多々ありますが、日本の若者たちに期待して会長挨拶とさせていただきます。

◇ 委員会報告 なし

◇ 幹事報告 高木 正尊 幹事

■回覧： 佐原香取 RC 会報・佐原 RC 会報

■例会変更：多古 RC 3月例会のお知らせ

佐原香取 RC 3月例会中止のお知らせ

成田コスモとしても、今後どうしたらいいか皆さんと相談して参りたいと思います。

■その他：・ 3月27日の地区災害支援チャリティーコンサートが中止になりました。

・ PHJ NEWSLETTER を回覧しています。

・ 3月15日開催の PLI パートⅡの参加者を募集しています。

参加費はクラブより支出致します。

・ 3月4日の例会終了後、役員理事会を行います。



卓 話

大本山成田山新勝寺 企画課 松岡 照英 様



皆さんこんにちは。成田山新勝寺の企画課に勤務しております、松岡照英と申します。来てみると、ほとんど私がいつもお世話になっている先輩方で、こんな格好をしていいのかわかりませんが、今日はお話をさせて頂ければと思います。卓話の依頼を書いた紙の中に本年度の初詣の状況、13代目市川團十郎襲名披露、成田山新勝寺というテーマがありましたので、3つ絡ませながら少しお話をさせて頂ければと思います。

初詣の状況ということで資料を持って来ました。令和2年の正月は318万人が成田山にお参り頂いております。過去をみても1番じゃないかと思えます。昭和50年からの三が日の集計の資料を持って来たのですが、平成20年より前までは警察発表ということで集計がなされておったのですが、それからは寺社発表ということになり、お寺がおのおののたいの人数を警察に報告すればいいというような事で、平成20年辺りから少し人数の増加が見られると思えます。それはそれぞれ寺社仏閣に対してせめぎ合いがあるかと思えますので、少し盛ってきたのではないかと考えております。私も若い時に寺社発表に変わり、1分間に何人通ったとか、1m四方に何人滞在しているとか、そういう計算をしながら出しておりました。今現在318万人という事で、明治神宮と同じような数だったと思えます。昨年は314万人で寺社仏閣年間参拝者数1位という事になっていますが、これもまた時代によって変わってくるのではなかろうかと思っている次第でございます。

成田山と市川團十郎ということでお話を頂いておりますが、その前に成田山についてホームページなどでいろいろ書かれている所は割愛しながら話してみたいなと思っております。まず私自身の話からさせていただきますと、私は今現在僧侶で、成田山に入寺したのが昭和61年、中学の終わりに入りました。現在僧侶が70名程いて、そのうち40名くらいが寮を出た方となっており、残りの20名というのはなかなか自分のお寺だけでは食べていけない近隣のお寺の方が手伝いに来てくれるというようなことでだいたい70名で形成されているものでございます。私は発心院という寮がございまして、そこに中学から入寺をさせて頂いております。先程ご紹介頂きました照英という名前を頂戴しているのですが、我々はその寮に入寺した際に「照」が入った僧名を頂き、寮に入って1年くらいして裁判所に行って名前を変更し、戸籍上も変わるという事です。「照」というのは成田山が中興第一世に照範上人という方がおられて、その方が「照」という字をつけていたので歴代ずっとつけているということでございます。我々は寮に入りますと、中学・高校・大学は寮から通わせて頂きます。中学は成田中学校、高校は成田高校、大学は大正大学がだいたいセオリーとなっており、そこで正式に僧侶の資格をとって成田山に入寺をさせて頂くという事になろうかと思えます。話は戻りまして私の話になりますと、私はもともと九州のお寺で生まれ、母が寺の娘、父は一般の職の方で、ちょうど高度経済成長期でしたので両親は東京に行き、私は生活する上で大変だったので九州のお寺で祖父母と生活をしておりました。その頃からお坊さんの真似事は祖父と一緒にやらされていて、絶対こんな道に入りたくないという幼少期はずっと思っていたのですが、小学校に上がるころになると僧侶の道というものも一つあるのではなかろうかという事で、皆さんに説得されながらそのまま親元には戻らず成田山の方に来てしまったという経緯があり、今現在35年くらい経ったというのが現状であります。こちらに来てみますと、お寺の住職の子供・お寺の親戚の子供・信者さんの子供と3パターンの僧侶の形成になっているのかと思えます。成田山に入るとお寺にずっと骨をうずめてほしいというのがこのお山のスタンスでしょうから、住職のご子息をうちの方で頂戴すると帰らなくてはならないので、信者の子供ですとか、私のようなお寺に関係している子供をお寺の中に入れて生活をさせ、新勝寺の石末になって頂きたいというような僧侶の形態になっております。今現在お寺の職員が290名くらいおりま

す。20年くらい前だと490名くらいでしたが、定年やリストラみたいなものはなく、新しい職員をとらないで現在の人数でなんとかお寺を運営しているという事でございます。僧侶以外の職員というのは近隣の昔から何代も続いているような一般の職の方が、お寺に奉公してくれているという事が多いです。明治維新頃に佐倉城とやり取りをしながらお寺の運営というものをしていたものですから、明治維新後は佐倉城に務めていた武士を40～50人雇ったという経緯があります。今うちの職員で袴を着ているものに関しては「侍」という呼び名をしています。

この後成田山と市川團十郎という事でお話しさせて頂ければと思います。よく歌舞伎に行くと「よ、成田屋！」という掛け声を聞くとと思いますが、この成田屋というのは成田山新勝寺のことを言い、それを屋号として使っているのが市川團十郎家という事でございます。また、12代目の市川團十郎さんが平成25年に亡くなりまして、その後市川團十郎という名跡が空席になっていたものですから、今の市川海老蔵丈が継続して13代目市川團十郎白猿襲名という事を表明して、合わせて今の堀越勸玄君も8代目市川新之助とご襲名されるという事です。市川家と成田山の関わりについては、まず成田山から説明して追って話していきたいと思います。成田山につきましては、平成30年に成田山が開基されて1080年経ったという事で1080年祭を行いました。御開帳を10年ごとにやっていますが、皆さんいろいろ調べる方も多いので本当は1080年っていうのは今年なんじゃないかと言われる方も多いのですが、日露戦争になる時に1000年祭を2年前倒しにした経緯がございますので、1080年祭を平成30年に行い、令和10年に1090年祭を行いたいと思っております。成田山新勝寺というのは宗派でいうと真言宗の智山派という派閥で、現在真言宗にはだいたい18派に分類されております。関東には智山派の大きなお寺が3つありまして、成田山新勝寺・川崎大師平間寺・高尾山薬王院で、大本山という称号を頂いております。大本山の上には総本山というお寺があり、京都東山七条の智積院というお寺で、我々の僧侶の階級とかいろいろ勉強する時にはそちらに行つて勉強を致します。私も大学卒業して2年目から智積院に出向という形で1年近く行かせて頂いたのですが、修行とは言ってもあれだけ京都の町並みはネオン街がひしめいていますので、夜の布教にも大いに勤しんできたという事がございます。その中で1つエピソードがあつて、昼もしっかりやっていたのですが、夜によく行っていた飲み屋にいつもなだれているおじさんがいました。私があると喜んでいろいろ世の中の愚痴を私に申すものですから、私もまだ20代で血気盛んな頃だったので、「そんな事じゃしょうがない。しっかり人生を歩んでいかなきゃ」と今となっては恥ずかしいのですがその都度説教していたようでございます。そのおじさんは毎回しっかり私の話を聞いて、人生の糧にしたのかわかりませんが、私が成田に帰ってきてから浄土宗の同級生より当時浄土宗の一番偉い方が、お前が京都からいなくなって寂しいと言っているというのです。誰だと言ったら、そのおじいさんでした。あれは浄土宗の人みんなに文句を言われました。成田山には別院というものがあつまして、札幌、函館、川越、東京、横浜、福井、名古屋、大阪に8別院というのがございます。こちらには主監という支店長的な役付けがあり、私と同じく寮を出たものしかありません。その下に末寺というのが北海道から沖縄まで全部で63ヶ寺それぞれ主要な所がございます。ご本尊は不動明王ですが、こちらはもともと成田山にあったわけではなく、京都の高雄山神護寺という所にあつました。今そちらのお寺の護摩堂の護摩札にはこの本尊様は成田山新勝寺に行つておりますという事が書かれております。なぜ成田山に来たかという、1080年前成田山が開創させた時、当時朱雀天皇の密勅により平将門の乱を鎮めて頂きたいという事で、寛朝僧正という方が京都からご不動様を海で運び、祈願をして平将門が討伐され、その平安を祈つて成田山ができたという事です。その時に高雄山の持ち物の不動明王を持って帰らなければならないということでしたが、お不動様が「私はここに留まって、人々の安全を願う」というようなお言葉を言つたらしく、今ここにあるという事でございます。あの

大きさのものをどのように成田山に持ってきたのかという事がよく言われていまして、京都から大阪の津まで運び、そこから船に乗って来たのではなかろうかという事です。うちのお寺でも尾垂ヶ浜で上陸聖地報恩大法会というのをやっています、船で尾垂ヶ浜まで運ばれてきましたが、そこからどうやって成田まで運んだのかという事がこれからの研究課題ではなかろうかと思っております。ただ、よく調べてみると、成田の JR 西口辺りまで川があったようなので、今の所そこまでは川を利用して持って来たのではなかろうかと言っています。そのお不動様は弘法大師空海が掘った不動明王と言われております。ただ、いろいろなお寺さんでお不動様を見てみますと全部弘法大師空海が掘ったという事になっていまして、それは詭弁ではなかろうかと思えます。昔の人は崇め奉るにそのようにする必要があったのだと思います。ただ、成田山新勝寺のお不動様に関しては、弘法大師が唐から密教を持って帰ってきて京都に来た時に京都の高雄山神護寺にずっと住んでおったので、そこのお不動様であるということからひとつ理にかなっているのではなかろうかと思っており、そのお力でこれだけの参拝者をお守りしていると勝手に思っております。関東には有名なお不動様が3つあり、成田不動・高幡山金剛寺の高幡不動・神奈川相模原の大山寺の不動で、関東三大不動と言っています。

ようやく市川團十郎の話に入ろうかと思いますが、市川團十郎が成田の出身というのはご存知でしょうか。もともとは武田家の家臣で甲州出身の堀越十郎さんが討伐の際に追われ、流れ着いたのが成田市の幡谷。そこで農家を始めました。流れ着いたという事で地元の人からもそんなに大きな畑を譲ってもらえず、細々と暮らしていたそうです。息子の堀越重右衛門が農家を引き継ぎましたが、その子供の堀越重蔵(十蔵)が農家を嫌い、弟にまかせて江戸に出ます。その方が初代團十郎となります。初代團十郎の幼名というのが海老蔵で、その名前は今の成田市の幡谷の近くにエビ川という川があって、そこからつけられたという事でございます。市川團十郎を語るうえでどうしても大事なのは1代目・2代目・7代目・8代目です。初代市川團十郎が江戸で歌舞伎を大成していき、大人気になっていきます。自分の子供を歌舞伎役者にしたいという悩みがありましたが、なかなか子供に恵まれず、ひいおじいさんが生まれ育った成田に成田山があるからという事で子宝祈願をしに行きました。そのかいあって子供が出来て、十蔵という自分の名前からひとつ削って九蔵とつけ、後の二代目となります。その子宝祈願をしたというのが今の薬師堂です。初代がお寺の恩を感じて、成田のお不動様のご利益の演目を作りたいという事で、成田山粉塵不動という演目を作り、親子で演じて江戸で人気になり、成田詣が盛んになったわけです。この成田詣に関しましては、昔は江戸から成田山まで下駄を履いて歩いてきたものですから4泊5日くらいかかりました。今は言われませんが、昔は成田山に来ると夫婦や付き合っている方が別れるなどと言われておりました。当時は女人禁制というのがあったので今でも残っていますが成田山までの道に女坂・男坂と別れて登り、その後合流するという所からそういった意味合いになったのかもしれないし、また、昔は江戸から4、5泊かけてくるのが楽しみだったとありまして、女の人を連れて行かず江戸から来る途中の船橋が遊郭だったので、そこでお遊びをしていたようです。成田詣ということになっておりますから、家に帰った時にお札がないと困るとの事で、成田山も商売っ気がありますので、船橋までお札を届けていたようです。そういう楽しみも増え、成田詣というのがひとつの賑わいになったように思います。初代と2代目より大鏡と提灯を奉納いただき、数年前まで倉庫の奥の方にしまっていたのですが、近年海老蔵さんが大鏡の存在を知って見せてほしいという事がきっかけとなり、現在は展示されております。提灯に関しましては、現在どこにあるのかわからないということでございます。歌舞伎の18番をオハコといいますが、これは二代目が作った18番の演目を箱に入れて大事にしまっていたという事から今現在もオハコと呼ばれております。また、先ほど言った成田山粉塵不動という演目のあらすじを見てみますと、仏教用語がかなり出てきますので、初代團十郎が考えた演目ではなく、当時の新勝寺の僧侶の方がプロデュースし

たのではないかと思います。その頃を見てもみると、我々が同じ名前をつけている照範上人ではなからうかと思っております。その後7代目というのが成田山に深く信仰された方で、当時斜視禁令という派手な振る舞い身なりはせず儉約しろというようなものが出された時に7代目が引っぱり、見せしめに江戸を10海里追放され、1年半くらい範囲外にあった成田山の現在の光輪閣の後ろにある延命院というお寺に住んでおりました。一昨年老朽化のために少し改装いたしましたして少し綺麗になりましたが、柱の何本かは当時のものを使っており、海老蔵丈も見たいという事で一緒に歩いていましたら、私も自分が年をとったら勧玄に任せてここに住もうかなというようなことをおっしゃっていました。7代目は1年間俳句や踊りを町方に教えていたようで、成田の文化向上に一役かっているのではないかと思います。また7代目も子宝には恵まれず、初代と同じように新勝寺に子宝祈願をいたしましたして、8代目が生まれました。そのことに感謝して、現在は焼失してしまいましたが、額堂というのを奉納して頂きました。現在同じ型のものが光明堂のわきにあり、その下に7代目團十郎の石像が置いてあります。その石像は焼失せずに当時のまま残ったもので、千両を奉じてと書いてあるので、7代目が千両、今でいうと1億5～6千万くらいを奉納して頂いて額堂を建てたという事になります。8代目は7男5女に生まれ、現在の家系に繋がるということでございます。以上成田山と市川團十郎のお話を紐解いてみました。

13代目市川團十郎が白猿を襲名することになり、お寺としても12月に海老蔵丈にお護摩の修行をさせて頂きました。今度は4月25日に JR 成田駅からお練り参拝、合わせて6月6日には成田山貸し切り歌舞伎公演をしたいと思っておりますので、このご案内も合わせて是非ご参加頂ければ大変ありがたいと思っております。長々となりましてまとまりませんが、卓話という事でお話をさせて頂きました。ありがとうございました。

<質問> どうやったら煩惱をはらえるかを教えて頂きたい

<回答> 私もなかなか煩惱を払えなくて、日々修行をしております。よく同じ質問を受けるのですが、煩惱というのはなくなりません。煩惱がなくなったら、我々生きる糧というか気力がなくなりますので、なるべく小さな欲で足りるように日々を満たしていくというのがひとつです。



◇ 点 鐘 奥村 國雄 会長

◇ 出席報告 *メーキャップは前後2週間です。

	日付	会員数	免除	出席	欠席	M U	出席率	補正出席率
前々回修正	2月12日	72名	5名	42名	22名	6名		68.57%
本日例会	2月26日	72名	5名	33名	32名	3名	52.94%	

・成田コスモポリタンロータリー・クラブ事務局

〒286-0106 成田市取香 500 ホテル日航成田内 TEL/FAX 0476-24-5044

・例会場 ホテル日航成田内 TEL 0476-32-1144 FAX 0476-32-0022